

# 金澤文化部

◉ | I E M O T O | loves KANAZAWA

金沢に住んでいるのに、金沢のことを知らない。  
加賀百万石や文化都市といったキーワードを連想はできても、  
そこから一步踏み込んだところで何かを語れるかといえば  
じつは、あんがい、あやしかったりもする。  
金沢で、金沢の職人と家をつくるわたしたちは、  
とりわけもっとこの街の文化や歴史を学ばなければいけない。  
家元の「金澤文化部」は、そんな想いからスタートした活動です。  
数寄屋造りの茶室、禪の道を伝える寺、手入れの行き届いた庭。  
すべてがわたしたちの手本であり、資料であり、師匠です。  
家元の社員が訪れた“金澤”をスナップとともにお届けします。



vol.15  
恰巧館



vol.14  
辻家庭園



vol.13  
毎田染織工芸



vol.12  
石川県立能楽堂



vol.11  
西田家庭園 (玉泉園)



vol.10  
妙立寺、にし茶屋街



[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴと](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)

# 金澤文化部〈巷〉 東山（巷）

〒920-0831 金沢市東山界隈

久保市乙剣宮→暗がり坂→主計町茶屋街→鏡花の道→梅の橋→ひがし茶屋街  
→字多須神社。浅野川沿いは料亭の建物が立ち並んでいるが、一步裏道に入  
ると狭い路地と千本格子の庶民向け遊郭跡が続く街並みが残存している。歴  
史と文学に優れ、風情深い情緒豊かで魅力的な街。



[← 一覧に戻る](#)

[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴと](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)

Copyright (C) 2012 IEMOTO All Rights Reserved.

金澤文化部〈貳〉

# 成翼閣

〒920-0936 金沢市兼六町1番2号

加賀藩13代藩主・前田斉泰が、母・真龍院のために建てた。一階は整然とした武家書院造り、二階は天井や壁、床の間に意匠を凝らした教習屋風書院造りとなっており、二つの様式を匠に採り入れた建物。華やかな色彩や優美に描かれた花鳥、作庭の意匠など母君への心遣いに満ちたこの御殿は前田家が育んできた美術、工芸、文化を今日に伝える唯一の建造物。



[← 一覧に戻る](#)

[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴ](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)

Copyright (C) 2012 IEMOTO All Rights Reserved.

金澤文化部〈参〉

# 大乘寺

〒921-8114 金沢市長坂町ル-10

加賀前田家歴代の人々や室生厚星が眠る野田山墓地に隣接する曹洞宗の名刹。2万平方mの境内には山門、仏殿、坐禅堂など禅宗様式の七堂伽藍が整備され、今も数多くの雲水が修行に励み、厳肅な雰囲気がある。坐禅の寺として知られ、毎朝の坐禅では一般にも親切な指導がある。



[← 一覧に戻る](#)

[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴ](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)

Copyright (C) 2012 IEMOTO All Rights Reserved.

金澤文化部〈四〉

# 壽屋

〒920-0902 金沢市尾張町2-4-13

金沢市保存建造物に指定されている築150年の金澤町家。庭を望む江戸時代末期の座敷、群青の壁が美しい明治時代中期の書院造りの座敷、大正時代初期の茶室、近代和風の様式美が随所に残る昭和初期の大広間、漆器の収納蔵を改装したお部屋など個性的な空間が魅力。五つの時代を超えた町家で金沢モダニズムを愉しめる。



[← 一覧に戻る](#)

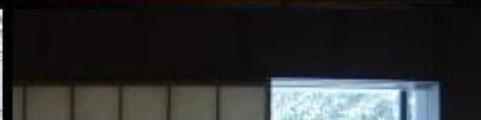
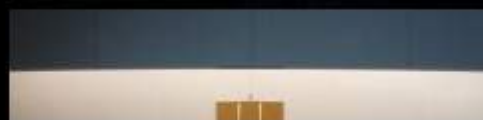
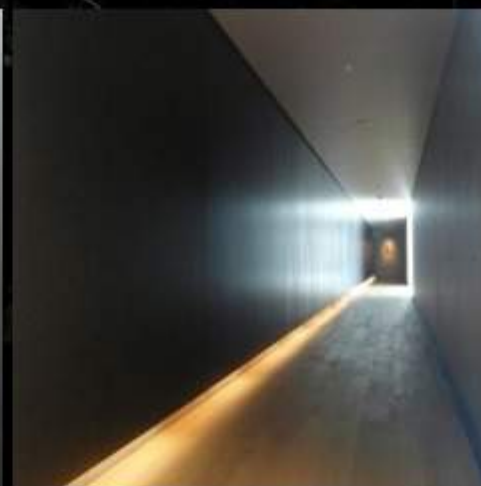
[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴと](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)

Copyright (C) 2012 IEMOTO All Rights Reserved.

# 金澤文化部〈伍〉 鈴木大拙館

〒920-0964 金沢市本多町3丁目4番20号

鈴木大拙は、日本の禅文化を海外に広くしらしめた、金沢の仏教哲学者。小立野台地から続く斜面緑地を背景に、石垣や水景などによって金沢を象徴する景観を創造し、大拙の世界を展開している。建築は、「玄関棟」「展示棟」「思索空間棟」を回廊で結ぶとともに、「玄関の庭」「水鏡の庭」「露地の庭」によって構成。来館者それぞれが大拙について知り、学び、考えることが意図されている。



[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴ](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告・覧に戻る](#)

## 金澤文化部〈六〉 東山（弐）

〒920-0831 金沢市東山界隈

文政3年、加賀藩がこの近辺に点在していたお茶屋を集めて整備したひがし茶屋街は金沢に残っている3つの茶屋街の中でも最も規模が大きい。石畳の道の両側に紅殻格子のお茶屋が軒を連ね、藩政時代の情緒が色濃く残っており、重要伝統的建造物群保存地区にも指定されている。



[← 一覧に戻る](#)

[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴと](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)

Copyright (C) 2012 IEMOTO All Rights Reserved.

## 金澤文化部〈七〉 金沢城公園

〒920-0937 金沢市丸の内

明治以降に建てられた木造城郭建築物としては全国最大規模である金沢城。復元にあたっては、石川県内の熟練した宮大工たちが日本古来の工法で建設した。釘を一切使っていない伝統的な木造軸組工法は、職人たちの卓越した技術を垣間見ることが出来る。また、江戸時代そのまま現存する石川門や三十間長屋などは国の重要文化財に指定されている。



[← 一覧に戻る](#)

[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴと](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)



金澤文化部 〈八〉

# 長町武家屋敷跡

〒920-0865 金沢市長町界隈

かつての藩士が住んでいた屋敷跡であり、土塀の続く町並みの中で今も市民生活が営まれている長町界隈。雪から土塀を守るための「こも」は、金沢の風物詩となっている。金沢城普請の際に木材の運搬に使われた金沢最古の用水が流れ、野村家などの屋敷は、この水の流れを庭園に引き入れ曲水としている。



[← 一覧に戻る](#)

[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴと](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)

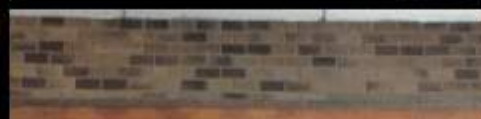
Copyright (C) 2012 IEMOTO All Rights Reserved.

金澤文化部〈九〉

# 福光屋

〒920-8638 金沢市石引2丁目8番3号

寛永2年創業の福光屋は、金沢で最も長い歴史を持つ酒蔵。百年の時をかけて酒蔵に湧き出る清冽な仕込水と良質の酒米に恵まれ、伝統の職人技を受け継いできた。現在では、長年培ってきた米醱酵技術を生かし化粧品や食品開発にも取り組み、日本文化としての日本酒を国内外に発信するために直営店「SAKE SHOP 福光屋」を展開している。



[← 一覧に戻る](#)

[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴと](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)

Copyright (C) 2012 IEMOTO All Rights Reserved.

金澤文化部〈拾〉

# 妙立寺、にし茶屋街

〒921-8639 金沢市野町

妙立寺は、日蓮聖人の尊像を安置し加賀前田家の祈願所として、身分や宗派を問わず多くの人々が参詣した。内部には、隠し部屋、隠し階段、落とし穴、切腹の間といった仕掛けが施され、23の部屋、29ヶ所の階段と4階7層からなる複雑な建築構造を有し、忍者寺の名で親しまれている。金沢で一番多くの芸妓さんがいるにし茶屋街では、夕闇に灯ともる頃になると、三味線や太鼓の音が流れ、艶やかな雰囲気包まれる。



[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴ](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告・覧に戻る](#)

# 金澤文化部〈拾菴〉 西田家庭園（玉泉園）

〒920-0932 金沢市小幡町8番3号

およそ720坪もの敷地を誇る玉泉園は、園内を回遊して鑑賞する日本庭園の伝統的な形である、上下二段式の池泉回遊式庭園。金沢最古の茶室「瀟雪亭」があり、室町時代の中国の高僧玉洞様式で約100年の時をかけ築庭され、この地域では珍しい水芭蕉が自生している。その景観美は、1960年に全庭が石川県の指定名勝となったことから窺い知ることができるのではないか。



[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴ](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)

[← 一覧に戻る](#)

金澤文化部〈拾弐〉

# 石川県立能楽堂

〒 920-0935 金沢市石引4-18-3

石川県立能楽堂は、石川県の能楽文化の保存・継承及び振興の拠点として、昭和47年、全国初の独立した公立能楽堂として建てられた。西本願寺の北舞台（国宝）を模した舞台は、入母屋造りの破風のついた檜皮葺屋根（総檜造り）で、長い歳月を経て、何とも言えない落ち着いた色艶と風格を呈している。



[← 一覧に戻る](#)

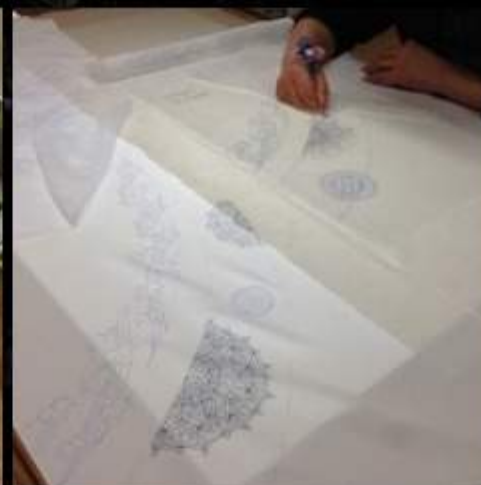
[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴと](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)

Copyright (C) 2012 IEMOTO All Rights Reserved.

# 金澤文化部〈十三〉 毎田染画工芸

〒920-0964 石川県金沢市本多町3-9-19

金沢で生まれた加賀友禅は、自然の美しさや四季の移ろいを意匠に取り入れ、その色彩の艶やかさが特徴。図案から仕上げまで、小さな作業を含めると約15行程あり、毎田染画工芸ではこの行程を一環して、工房内で制作している。これは均一の品質を高めることと、時代に合わせた意匠を最終の仕上げまで責任を持って厳格に見届けるためである。



[← 一覧に戻る](#)

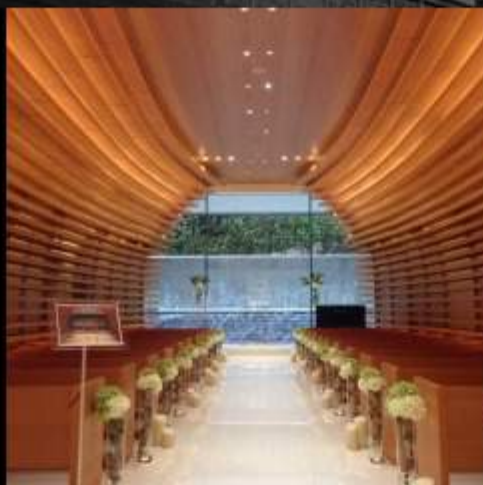
[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴ](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)

金澤文化部〈十四〉

# 辻家庭園

〒921-8033 金沢市寺町1-8-48

辻家庭園は加賀藩家老の一人、横山隆興により別荘兼庭園として明治時代後期から大正時代の初期に造られた。地形の魅力を生かし、自然との同化を試みた、英国式自然庭園となっている。今まで一般公開されることはほとんどなく、2013年に結婚式場と併設して、新たに活用されることとなった。



[← 一覧に戻る](#)

[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴ](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)

Copyright (C) 2012 IEMOTO All Rights Reserved.

金澤文化部 〈十五〉

## 箔巧館

〒921-8061 石川県金沢市森戸2丁目1-1

金沢は、全国の金箔99%以上の生産量を誇る金箔の街。製造に適した湿度と温度、水質に恵まれた「北陸の気候風土」と、この地で育まれてきた忍耐強い「職人氣質と技術」が今日、金沢で金箔工芸が発展してきた理由である。金箔総合ミュージアム「箔巧館」では、箔打ちの実演見学や箔貼りの体験もあり、金沢の伝統文化に触れることが出来る観光施設となっている。



[← 一覧に戻る](#)

[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴと](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)



# 富山文化部

● I E M O T O loves TOYAMA

家は文化である、と信じるわたしたちにとって、  
その土地の歴史や風習を知ることがきわめて重要です。  
金沢に産まれた家元は、富山の地を学びます。  
教科書で学ぶのではなく、その地に降り立ち学習します。  
富山には、大自然が織りなす芸術があると聞きます。  
歳月を超えたものづくりの妙技が受け継がれ、  
世界が認めた伝統的な家造りがあると承知しています。  
おそらくそのすべてがわたしたちの“師匠”となりえるはずです。  
「金沢文化部」につづく「富山文化部」、  
家元の社員ひとりひとりが富山の地と真摯に向き合います。

[トップページ](#) [経営理念](#) [ご挨拶](#) [社名とロゴと](#) [実績集](#) [会社概要](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ブログ「家元の理」](#) [広告](#)

Copyright (C) 2012 IEMOTO All Rights Reserved.